

海外自治体幹部交流協力セミナー2018（北京事務所管内） 事業概要

1. テーマ：長崎県の歴史文化を活用した中国への情報発信

2. 海外参加者数：6名

所属団体	役職	氏名
中国外交部外事管理司	参事官	林先江（リン センコウ）
四川省人民政府外事僑務弁公室	副巡視員	陳志孔（チン シコウ）
湖北省人民政府外事僑務弁公室	副巡視員	馬愛国（マ アイコク）
陝西省人民政府外事僑務弁公室	副巡視員	李軍（リ グン）
中国日本友好協会都市経済交流部	副部长	王磊（オウ ライ）
中国外交部外事管理司	一等書記官	伏霄漢（フク ショウカン）

3. 日程：

日程	内容
11月19日（月）	○日本の地方自治講義（クレア本部会議室） ○交流夕食会
11月20日（火）	○都内視察 ○歓迎昼食会 ○飛行機で長崎県へ ○長崎県平田副知事表敬 ○長崎県主催歓迎夕食会
11月21日（水）	○長崎県行政説明 ○視察：東明山興福寺 ○視察：長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム ○雲仙市内へ移動
11月22日（木）	○視察：雲仙地獄 ○視察：小浜足湯 ○帰国前昼食会 ○意見交換会 ○飛行機で東京都へ
11月23日（金）	○中国大使館訪問 ○帰国

【11月19日（月）】

（1）日本の地方自治講義

明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科、木村俊介教授による講義を受講。参加者からは、国と自治体の関係性や地方公務員の給与などの質疑応答がなされ活発な様相を呈した。



日本の地方自治講義

（2）クレア主催交流夕食会

赤坂祢保希で実施。参加者は土佐料理をはじめ地元の焼酎や日本酒を堪能していた。

【11月20日（火）】

（1）視察：東京スカイツリー

東京スカイツリーでは、眼下に広がる景色を楽しんだほか、エレベーター等の設備に関心を寄せていた。



東京スカイツリー

（2）クレア主催歓迎昼食会

家全七福酒家で実施。丸ビル最上階から皇居を一望できる景色を眺めながら、広東料理を楽しんだ。

（3）長崎県平田副知事表敬及び歓迎夕食会

ホテルニュー長崎にて、平田副知事の表敬を実施し、劉亜明長崎県総領事、田代文化観光国際部政策監等が出席された。平田副知事からは、長崎と中国の交流の歴史に触れた後、中国とゆかりのある2人の人物、梅屋庄吉及び隠元禅師を通じて日中両国の交流に繋がりたい旨の発言があった。団長の林参事官からは、相互理解を深めることはお互いの国を訪問することであり、今回の訪問で理解を深めるだけでなく協力を促進したい旨の発言があった。表敬後は、歓迎夕食会場に移り、長崎県の地元の食材を使った料理と地酒を堪能した。



長崎県主催歓迎夕食会

(4) 稲佐山

歓迎夕食会後、世界新三大夜景に認定された長崎県の夜景を鑑賞するため、稲佐山展望台に訪れた。参加者は、稲佐山展望台から見る夜景に感嘆していた。

【11月21日(水)】

(1) 長崎県行政説明

孔子廟、中華街等の長崎に息づく中国文化や、日本黄檗宗の祖である隠元禅師、孫文を生涯にわたり物心両面で支援した梅屋庄吉等の長崎県と中国のゆかりのある人々の紹介があった後、意見交換を実施した。参加者からは、中国と長崎県の深い繋がりを感じることができた等の感想があがった。



長崎県行政説明

(2) 視察：東明山興福寺

国内最初の黄檗宗の唐寺である興福寺を視察。松尾住職より、隠元禅師にまつわる逸話や隠元禅師がいた当時の長崎の状況説明を受けた。室内ではお茶の振舞いがあり、参加者は日本の文化を体験でき、満足した様子であった。



東明山興福寺興福寺

(3) 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム

同ミュージアムでは、孫文と梅屋庄吉との交流についての動画を鑑賞したあと、所蔵されている明治以降の長崎での華僑の活躍を知ることができる貴重な資料を閲覧した。

【11月22日(木)】

(1) 視察：雲仙地獄・小浜足湯

雲仙温泉を代表する地獄スポットである雲仙地獄を視察。参加者はその絶景からまるで桃源郷のような場所であるとの感想があがった。続く小浜足湯での足湯体験では、セミナーでの疲れを癒したほか、近隣の海産物直売所で長崎県産品を購入していた。



雲仙地獄視察

(2) クレア主催帰国前昼食会

諫早市の名物料理であるうなぎ料理を堪能した。

(3) 意見交換会

意見交換会では、参加者から、長崎県でこれまで見聞きした歴史や文化について、中国の目から見た感想と意見をそれぞれ発表するとともに、中国現地での情報を踏まえた上で、中国へのPR手法等についてアドバイスがあった。

また、今回参加していた省の参加者からは今回の訪問を機に長崎県と友好提携したいとの話があり、大変充実した意見交換となった。



意見交換会

【11月23日（金）】

午前中に中国大使館へ訪問し、今回のセミナーの成果を報告した後、羽田空港から帰国の途へ。